

令和8年度 福岡県立大学 公開講座Ⅲ

ペアレントトレーニングを応用した特別支援教育スキルアップ ワークショップ 不適応行動の背景とその支援～発達障がい特性から考える～

日時：2026年8月23日（日） 10時30分～12時30分（10時～受付）

会場：福岡県立大学 大講義室

（福岡県田川市伊田4395番地）

定員：100名程度 参加費：無料

対象者：子どもの保育・教育に携わっている方、
子育てや子どもの支援に関心のある方など



アクセスマップ



キャンパスマップ

講師：坂口美由紀先生（臨床心理士・公認心理師）

九州大学大学院教育学研究科修士課程修了後、知的障がい者通所授産施設、福岡市内の療育センターを経て、福岡市発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター）に開設から携わり、発達障がい者本人やその家族の相談に応じる。

2016年より、短期大学講師として勤務するかたわら、発達障がい専門の相談場所として『カウンセリングルーム小箱』を開室。その他、特別支援学校のスクールカウンセラーに従事した経験もある。

～講師からのメッセージ～

多くのご相談は、不適応行動（部屋から出ていく、暴言、物を壊す、人を叩く、こだわる、など）にどう対応したらよいか、から始まります。何度注意しても続く不適応行動に対しては、表に出てくる行動だけでなく、その背景にある障がい特性から、その子が何に困っているかを考えて、支援をもうひと工夫する必要があります。なぜなら、高い負荷やストレス状態を何とかしたいと必死の対処が不適応行動として表れているからです。

本講座では、不適応行動とその支援を考えるヒントを3つにわけてお話します。

不適応行動をきっかけに、その子にとってわかりやすく充実した毎日になるように、ぜひ一緒に学んでみませんか。

お申込みはQRコードから、もしくは下記まで
申込期限：2026年8月17日



← 書籍「ペアレントトレーニング実践ガイドブック」

（あいり出版 ￥2,808（税込））

ご希望の方は、¥2,200（著者割引）で購入できます。

7月31日までに申込み時にお申し付けください。



申込フォーム

お問い合わせ

福岡県立大学大学院心理教育相談室 ペアレント・トレーニング事業

MAIL：lwrc1@fukuoka-pu.ac.jp（担当：古賀） FAX：0947-42-1540

※本講座は、田川市・福岡県立大学包括連携協定に基づき、田川市から一部助成を受け実施しています。